

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 6 日

事業所名 しあわせ駅 読谷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3			基準は満たしているが、物を置くスペースがない為、スペース確保のための倉庫を検討中。
	2	職員の配置数は適切である	5	3		基準を満たしながら、児童の数、特性を考慮し配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		スロープやてすりを設置しており、玄関もフラットな作りになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3		日々の業務を全職員が意識し、都度コミュニケーションをとりながら対応している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		評価表だけでなく、支援計画書作成前にアンケートを取っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3		HPに掲載し、その旨をお便りにて周知している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	5		今後、導入を検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2		定期的かつ多様な研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			書面だけでなく、保護者から直接伺い、それを参考に話し合いを行いながら、支援計画に組み込んでいる。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				定期的にあセスメントを取っていく予定である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2		大まかな活動は社員で行い、細かい活動内容は全職員で計画している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1		毎月活動内容についての会議を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			活動を行える時間を考慮し、設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	3		児童の成長にあわせて計画を作成するようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		毎日送迎の確認、支援の内容の確認を全職員が揃った際に伝える時間を設けている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		記録をする際に、複数人で集まって行い、当日の様子を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			記録をしながら職員間で情報共有をしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			相談支援事業所と連携、情報交換を行っている。	
関係機関や 保護者との 連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8			日々の活動の趣旨を理解しながら行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			計画を作成しているサービス管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		主にスマホを使用し、学校と連絡共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4	1	該当者はないが、入所時に、服薬やかかりつけ医の有無をうかがっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		相談支援事業所を通して行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	1	資料を作成し、相談支援事業所へ伝えている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		社会福祉協議会と連携し、提示された研修へも都度参加している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	5		児童館への訪問を増やし、自然な形触れ合える機会を増やして行きたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4			参加しているが、出席できない事もある為、出席できるような環境づくりをしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			送迎の際に様子を伝え、携帯端末でその日の活動の写真を送付している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	1		児童のできる事、できたことを共有し、家庭でも行えるような声かけをしていくとともに、保護者会を行うなどして、子どもとの関わり方を支援していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時や見学に来た際に運営規程に沿って説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			送迎時に行ったり、携帯端末でやりとりを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	4		今後そういった機会を設けられるよう活動を組んでいく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			苦情対応担当を設置し、対応についてはすぐに周知し、解決策を提示し対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月お便りを発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	8			事務所の出入りを職員だけにし、かつ個人ファイルなどは施錠できる棚に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			勉強会、研修等で、配慮しなければならない事案について全職員が学習し実践している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	6		公民館等に訪問し、地域とのつながりを形成していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1			職員への周知はできているが、保護者への説明が不十分な点が見られるため、改めて周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		年に二回程度を目安に行っており、消防署見学なども行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			虐待防止委員会を設置し、定期的な研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		該当者は現状いないが、研修・勉強会を全職員行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		該当者はいないが、契約時にアレルギーの有無をうかがい、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			当事業所だけでなく、他事業所の事例もあわせて共有している。	